

漁海況情報

2013年(平成25年)8月 第489号

最新情報提供：沖縄県水産海洋技術センター
 URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
 海況案内人のページを参照してください。



沖縄県水産海洋技術センター
 901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
 電話 098-852-4530・4531
 F A X 098-852-4533

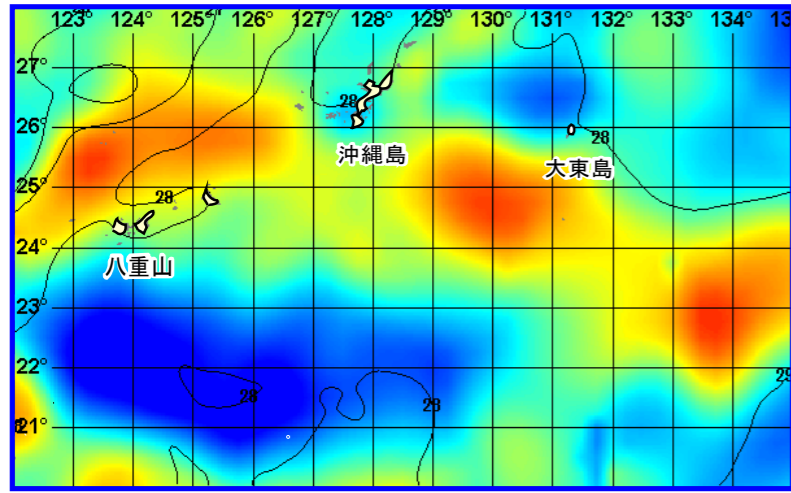


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2013年10月3日)

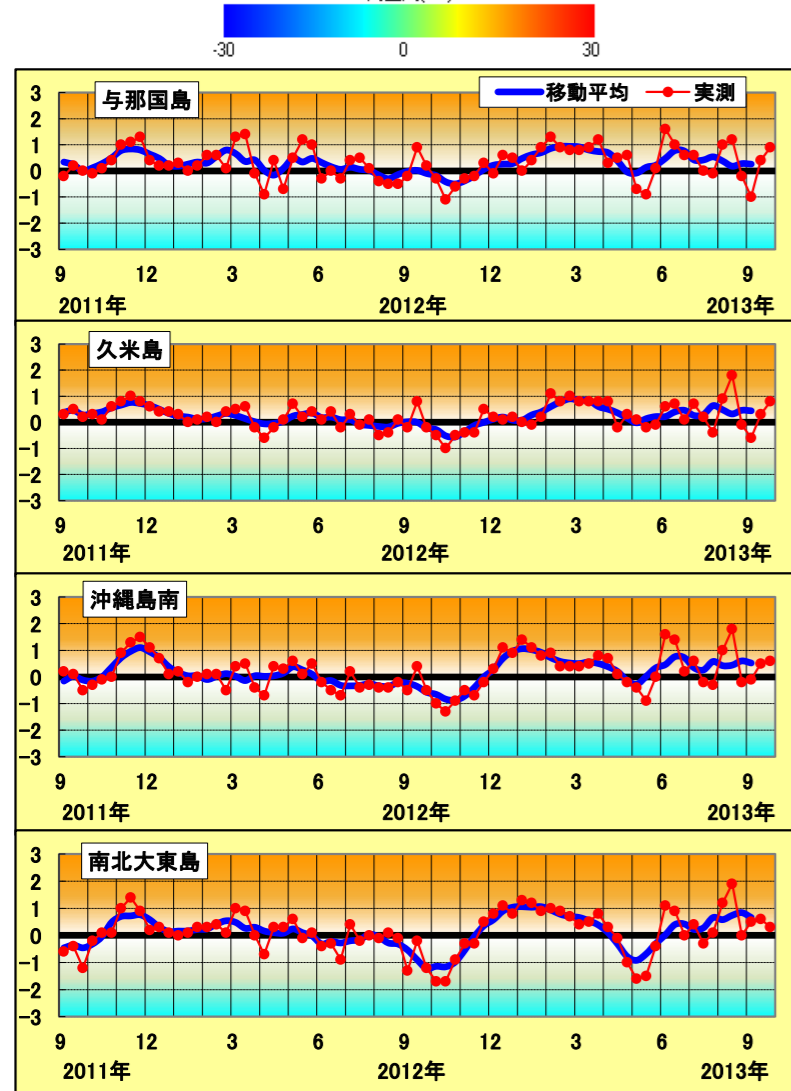


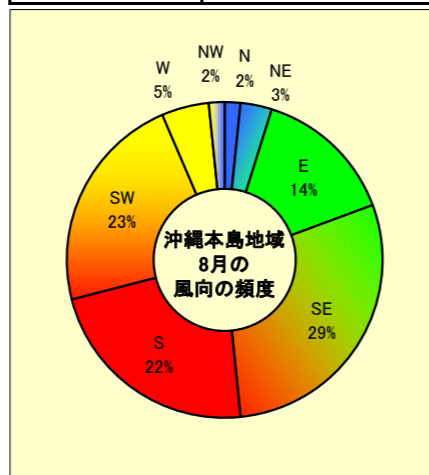
図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

水温：9月の水温は、与那国島、久米島の上旬でやや低め(−1.0℃程度)であった他は概ね平年並みからやや高め(±0.5~+1.0℃程度)であった。
 今後1ヶ月の表面水温は、前半、大東島でやや低めから低め(−1.0~−1.5℃程度)、尖閣諸島でやや高め(+1.0℃程度)の他は、概ね平年並み(±0.5℃程度)で推移する見込み。

潮流：黒潮は通常的位置よりやや西側を流れている模様。また、調査船図南丸による海洋観測(9/30~10/2)でも久米島付近で通常より西側に黒潮の流軸を確認した。

参考資料
 沖縄周辺の日別海水温・潮流
 気象庁：10月2日発表
 海水温・海流1ヶ月予報
 気象庁地球環境・海洋部：9月30日発表
 沖縄県地方1か月予報
 沖縄気象台：9月27日発表

9月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	やや高め
久米島	やや高め
沖縄島南	やや高め
大東島	平年並み



漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではカツオ、キハダ、シビの水揚げが多かった。

表1 8月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.8
クコシキ	0.5	0.2	0.8	0.0	1.5	0.0	2.8
沖サワラ	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5	0.0	1.0
カツオ	1.2	0.0	0.1	0.1	1.5	15.9	17.8
キハダ	15.2	1.4	3.8	3.4	23.9	10.4	64.4
シビ	11.8	3.8	1.8	3.2	20.6	9.4	33.8
メバチ	4.5	0.2	0.1	0.8	5.5	0.0	8.9
計	33.4	5.8	6.8	7.6	53.6	36.0	129.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)
 沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

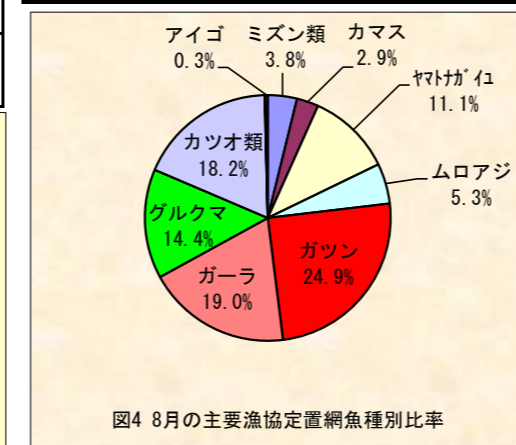
年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	-	-	45.5

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)
 沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	-	-	57.6

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)
 沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	-	-	3.3



定置網：8月の全体の漁獲状況は、9,651.7kgで先月(6,443.9kg)と比べて増加した。ガツンの漁獲が全体の24.9%、ガーラが19.0%、カツオ類が18.2%を占めた(表5、図4)。



ナンヨウカイワリ(ガーラ)

糸満ではキハダが15.2t、シビが11.8t漁獲された。港川ではシビが3.8t、キハダが1.4t漁獲された。知念ではキハダが3.8t、シビが1.8t漁獲された。沖縄市ではキハダが3.4t、シビが3.2t漁獲された。伊良部ではカツオが15.9t、キハダが10.4t、シビが9.4t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

8月のキハダの漁獲量は、23.9tで7月(11.3t)に比べて12.6t漁獲量が增加、昨年の8月(37.3t)と比較すると13.4t減少した(表2、図3)。シビの漁獲量は7月(24.9t)と比べて4.3t減少した(表3)。シイラの漁獲量は7月(0.2t)と同じだった(表4)。

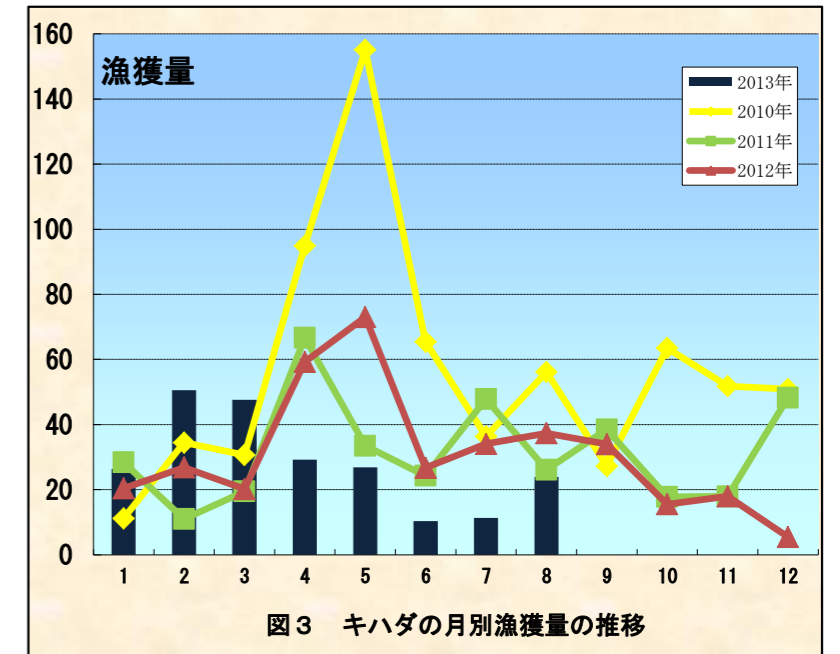


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 8月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	208.5	1.3	0.0	157.5	0.0	0.0	0.0	367.3
カマス	260.0	1.3	0.0	1.9	11.3	0.0	0.0	274.5
ヤマトガイ	996.9	17.0	0.0	41.6	7.6	0.0	0.0	1,063.1
ムロアジ	507.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	507.3
ガツン	2,290.9	77.6	0.0	2.3	10.3	0.0	0.0	2,381.1
ガーラ	1,451.0	223.4	0.0	8.7	133.2	1.2	0.0	1,817.5
グルクマ	925.7	262.6	0.0	40.2	148.9	0.0	0.0	1,377.4
カツオ類	1,570.6	131.7	0.0	37.2	0.0	0.0	0.0	1,739.5
タチウオ	0.3	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
アイゴ	0.0	0.2	0.0	0.6	5.3	26.4	0.0	32.5
合計	8,211.2	720.8	0.0	290.0	316.6	27.6	0.0	9,566.2

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。